

～流域治水の“自分事化”を促すために～

## イベント等における周知ツールとしての「妖怪カード」の活用

自分自身の水害リスクを知り、水害からの逃げ方を考えてもらう「マイ・タイムライン」の普及を促進するため、水防訓練や防災フェア等の各種防災イベント等で、短時間で関心を得るためのツールとして「気をつけ妖怪カード」を活用する。

### 狙い

子ども向けに作成された「妖怪キャラクター」に紐づけてハザードマップの浸水深を確認してもらうことで、自分の住む場所の**水害リスクを記憶にとどめる**とともに、マイ・タイムラインの検討を促し、家族とともに避難行動につなげることで、いわゆる「自分事化」の効果、波及を狙いとする。

### 使用方法

ハザードマップや浸水想定区域図、重ねるハザードマップなどで自分の家や気になる場所の浸水深を調べてもらう。

#### その結果、①浸水する場合

→該当する浸水深の妖怪カードを配布し、マイ・タイムラインの作成（逃げキッドのチェックリストを使用）を促す（必要な対応について検討をしてもらう）。

#### ②家屋倒壊等氾濫危険区域である場合

→激流大王のカードを配布し、マイ・タイムラインの作成（逃げキッドのチェックリストを使用）を促す（必要な対応について検討をしてもらう）。

#### ③浸水しない場合

→周りの状況を見て、用水路等がある場合はひっぱりだこ・アンダーパスや低い場所がある場合はみずあつめのいずれかのカードを配布する（色がついていなくても、リスクがある可能性を説明する）。

※はんらんぼうは、すべてのリスクを包含するキャラクターとして、他のカードと組合せて配布する。

※ひっぱりだこ、みずあつめは、避難場所までの避難ルートを考える際の注意点として配布してもよい。

## カードの作成方法

- 「名刺」の台紙にプリントアウトすることで、簡易なカードが作成できます。
- プリンターの機種や名刺の用紙の規格により、枠がずれる場合があります。試し刷りするなどして、位置を調整してから台紙に出力してください。

①妖怪PDFをダウンロードする。

②プリンター出力をする。

- ・プリンターの手差しトレイに名刺の用紙をセットする
- ・プリンターの印刷設定で、「ページサイズ処理」を「実際のサイズ」に設定する
- ・プリンターのプロパティ等の詳細設定画面で「短辺とじ」の「両面印刷」にする
- ・「トレイ/排出」タブで「手差し」を選択し、用紙の種類を調節する（「厚紙」等、お使いのプリンターでご確認ください）
- ・OKして閉じる
- ・出力する枚数をセットしてプリントする